

利根・沼田の教育

発行所 利根教育事務所
発行人 増田 郁夫
〒 378-0031 沼田市薄根町 4412 番地
TEL 0278-23-0165 FAX 0278-23-0180
E-mail : tonekyou@pref.gunma.jp

豊かな心を育む ～時を超えた恩師の呟き～

利根教育事務所長 増田 郁夫

「いじめの防止」等も含めて、現在文部科学省では、「道徳」の教科化に向けての議論が進んでいるところですが、子供たちに豊かな心を育むことはこれまでも大切にしてきたことですし、今後も日本人の素晴らしさを受け継いでいくためにも極めて重要なことであると思います。以前、学校に勤務していたときのことで、全校朝会（いわゆる朝礼）では、道徳教育に視点をあて「心を豊かにする時間」として、計画的に話をするにしていた。それは、30年前に勤務していた学校の校長先生が「朝礼は校長の授業である」と呟かれたことがあったからです。当時の生徒たちは朝礼の行われる月曜日は自主的に朝早くから体育館に整列し、校長先生が登壇するのを待っていたのです。このような理想の恩師には届きませんが、当時の朝礼講話は未だに私の心に残っているのです。そのうちの一つを使つての「心を豊かにする時間」のエピソードを紹介いたします。

音楽科の教師との事前の打ち合わせで、ピアノでシャボン玉の歌を弾き語ってもらうことになっていました。1番が終わったところで、私がピアノの脇に立ちシャボン玉を飛ばしてから、話を始めようとしたのですが、私のその姿に生徒たちから大きな笑いが起こってしまいました。予想外の展開に気を取り直して話を始めました。

今日は、今流れた「シャボン玉」や「七つの子」の歌詩を作った野口雨情さんのお話しをします。美しくきれいなシャボン玉ですが、この歌には何かもの悲しさが感じられます。後半の歌詞は、「シャボン玉 消えた 飛ばずに消えた うまれてすぐに 壊れて消えた」と、なっています。

雨情さんは、なかなか赤ちゃんが産まれなくて、もう自分には赤ちゃんは授からないだろうと思っていた時に、やっと娘さんができたそうです。ところが、産まれて一週間も経たないうちに、赤ちゃんが亡くなってしまったのです。ですから、「うまれてすぐに 壊れて消えた」と、自分の子どもを壊れやすい、シャボン玉に例えてその悲しみを詩にしたようです。屋根まで飛んだシャボン玉は元気に生きた命ですが、飛ばずに消えてしまったシャボン玉は、病気や事故に遭ってしまった短い命なのでしょう。詩は、さらに「風、風、吹くな シャボン玉 飛ばそう」と続きます。病気や事故を風に例えて、「風よ吹いてくれるな！シャボン玉が屋根を超えるほど高く飛ぶように、どの子も元気に永く生かさせておくれ。そして、子どもたちに自分の夢や希望を叶えさせてあげて！」と、親としての切ない願いを訴えているように思います。

皆さんのお父さんやお母さんも先生方も、雨情さんと同じ気持ちで皆さんを大切に育てています。

皆さん、どうか健康で、逞しく生きてください。時には麻しんや風疹などの感染症や交通事故などが皆さんを襲うかも知れません。でも、自らの健康を管理し危険を察知するなど、互いに声を掛け合い、安全を確保して冷たい風を吹き飛ばし、親からいただいた「大切な命」を守り続けてください。

新学習指導要領においても、道徳教育の充実に向けて道徳教育推進教師の職務を明確にして取り組むことが示されています。各学校においては、道徳の時間の資料や指導計画の整備・管理・開発や道徳だよりの発行、地域との連携、さらには各教員の授業づくりに向けての相談・指導・助言にあたるなど、全教育活動における心の教育の充実に向けての取組が進んでいます。引き続き、子どもたちが「楽しく学び合い、確かな学力を支える豊かな心を育むとともに、自らの健康を管理し体力づくり」ができるよう指導していただきたいと思ひます。

使ってなっとく！「はばたく群馬の指導プラン」(理科)編

今回は、「はばたく群馬の指導プラン」第I章を活用して、理科の授業を具体化した例を紹介します。

ねらいの吟味

小学校3年生 理科 単元名：明かりをつけよう
本時のねらい：明かりがつくときとつかないときのつなぎ方を比較し、明かりがつくつなぎ方を考察することができる。

最終的には、「乾電池の+極、豆電球、乾電池の-極が、一つの輪のように導線でつながっているとき、豆電球に明かりがつく」ということを考えさせる授業だな。「指導プラン」でポイントを確認してみよう。



「指導プラン」の活用



なるほど。小学校3年生では、共通点や差異点に目をつけて、比較するような授業づくりをするんだな。本時を構想してみよう。

＜「はばたく群馬の指導プラン」28ページ 理科 小学校3年生＞

自然事象を比較し共通点・差異点を明らかにする

比較

事物・現象A

比較

事物・現象B

(例)単元「昆虫と植物」

チョウの体のつくり



比較



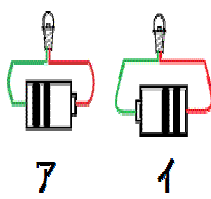
バッタの体のつくり

共通点① 成虫の体が頭・胸・腹からできている。
共通点② 成虫には、あしが6本ある。
差異点 体の大きさ、表面の様子、色などが異なる。

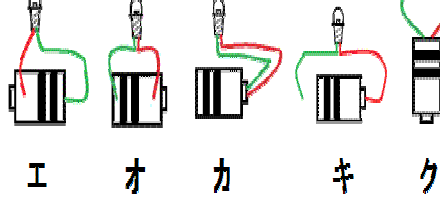
子どもが前時に試したいろいろなつなぎ方を下のA群、B群のように分け、それらを比較させよう。

比較すべき対象等の検討

明かりがつくつなぎ方(A群)



明かりがつかないつなぎ方(B群)



比較

ねらいは「明かりがつくつなぎ方を考察することだから、B群と比較させながら、A群の共通点を考えさせることが授業の中心になるな。



最終的なねらいの達成に向け、個人で考察する場面において、A群の共通点として、最低限、子どもに気付かせたいことと、それに気付かせるためのヒントとなる言葉がけを考えてみよう。

個人で考察する場面の構想



どれも導線が+極と-極につながっているよ。



ヒント：導線のつなぎ方はどうなっているかな。

導線が一つの輪のようになってるね。



ヒント：A群と、B群のキを比べてみよう。

乾電池→導線→豆電球→導線→乾電池のようにつながっているわ。



ヒント：導線を指でたどってみよう。

よし。これらの考えを中心に、全体で考察させることで、「乾電池の+極、豆電球、乾電池の-極が、一つの輪のように導線でつながっているとき、豆電球に明かりがつく」という見方ができ、ねらいの達成につながるぞ。次は、全体での考察のさせ方をじっくり構想しよう。



「はばたく群馬の指導プラン」の第I章は、各教科等の身に付けさせたい資質や能力を、児童生徒の具体的な姿や取り組み例でまとめてあります。日常の授業づくりで活用してみたいはいかがでしょうか。